



JASDAQ

平成 24 年 5 月 14 日

各 位

会社名 コムチュア株式会社
代表者名 代表取締役会長 向 浩一
(JASDAQ・コード 3844)
問合せ先 取締役経営企画本部長 田村 誠二
(電話番号 03-5745-9702)

中期経営計画の策定について (2012 年 4 月 1 日 ～ 2015 年 3 月 31 日)

コムチュア株式会社(東京都品川区 代表取締役会長 向 浩一)は、情報サービス産業を取り巻く事業環境の変化を踏まえ、この度、2015 年 3 月期を最終年度とする中期経営計画を策定致しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画策定の狙い

昨年 3 月の東日本大震災の影響は、復興需要から緩やかな持ち直しの傾向が見られます。しかしながら、欧州の財政不安、円高と株価低迷の長期化などによる企業業績の不透明感から、設備投資の圧縮など、事業を取り巻く環境は予断を許さない状況で推移しております。

当社が属する情報サービス産業界においても、新規システム開発の延期、縮小といった IT 投資を抑制する傾向が強く、厳しい事業環境が続いております。

一方、情報技術の進展と市場ニーズから、クラウド・コンピューティング、モバイルなどの関連技術を生み出しました。これらの技術を活用したサービスは今後の情報サービス産業界を牽引し、大きく成長する分野であると見込まれています。

当社において、このクラウド・モバイル分野での年伸び率は 2.3 倍の前期実績であり、また今年度も倍増する見通しと、引き続き大きく伸長・拡大すると予想しております。

このような状況を踏まえ今般、当社は、持続的な成長を目指し、2012年度を初年度とする新しい「中期経営計画」を策定いたしました。

2. 中期経営計画の概要

【計画期間】

2012年4月から2015年3月までの3カ年

【経営理念】

お客様には“感動”を、社員には“夢”を

【経営ビジョン】

クラウド時代をコラボレーションでリードするコムチュア

【経営戦略】

『成長戦略』

中期経営ビジョンとして、「クラウド時代をコラボレーションでリードするコムチュア」を掲げ、今後大きく成長するであろうクラウド・コンピューティング市場に軸足をおきつつ、既存事業の強化、および新しい成長エンジンと他社との連携ビジネスの創出をすすめて参ります。

『顧客戦略』

中期経営計画を牽引するキーアカウントを決め、既存の重点顧客との取引拡大と新規ユーザー層の開拓に努め、大口顧客をターゲットとした営業活動を徹底いたします。

『人材戦略』

優秀な人材の補強と育成に努めるとともに、組織のフラット化、体制の機動的対応に努めます。また、トップダウン経営の長所を活かしつつ、現場組織が自律的に判断し行動することのできる経営基盤の構築を進めてまいります。

『研究開発戦略』

新たな価値の創出を目指した自主的な研究開発の支援制度を進化させ、クラウド、モバイル分野での独自サービスとOnlyOne製品の品揃えに取り組んでまいります。

『品質戦略』

プロジェクト・マネジメントの精緻化、および品質、工程と原価の可視化を進めることで、プロジェクト課題への先手対策でサービス品質の向上に努めて参ります。

『提携戦略』

アライアンス戦略では、相乗効果を前提におきながら、クラウド・モバイル分野の事業基盤の強化を狙った業務提携に積極的に取り組み、成長スピードを加速させます。

これらの取り組みで、2015年3月期には、既存の事業のみで売上高73.5億円規模を目指しながら、同時に資本・業務提携を含む新規事業に積極的に推進してまいります。

【業績目標】

年度	2012年3月期 (実績)	2013年3月期 (計画)	2015年3月期 (計画)	年平均成長率 (12年3月期～ 15年3月期)
売上高 (百万円)	5,526	6,250	7,350	10%
営業利益 (百万円)	463	510	620	10%
営業利益率 (%)	8.4%	8.2%	8.4%	—

(注)上表は、既存事業のみでの中期計画値であります。

【利益還元方針】

コムチュアグループは、「クラウド時代をコラボレーションでリードするコムチュア」を目指し、積極的な事業展開と戦略投資を行い、企業価値の持続的向上を図ってまいります。

利益還元につきましては、株式の流動性の向上を図るとともに、引き続き積極的な利益配分を基本方針とし、配当性向30%以上を目標に段階的に引き上げてまいります。

以上

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。